

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

今年も始まりました。 (悦) 写真:(口)
今年第1回目は、当初15日予定をトイレの事情で延期しましたが、22日に午前中だけで実施することにしました。15日の天気は大荒れで、22日は快い観察日和でしたから、結果的には正解でした。

午前中で終了とするため、コースを短くして沢沿いの小径、野鳥の小径途中までをのんびり観察しました。

春一番は、観察対象が少なく、プログラムを組むのに苦労しましたが、予想以上に、スミレが咲き、蝶が飛び、オオムラサキの幼虫にも、沢で20cmくらいのアマゴとの出会いもあり、盛り沢山の半日になりました。



エビガライチゴ (宇)

両端の根っこから生えて空中で合体したような円弧状の棘だらけの不思議な植物。先端が地面につきそこから根を出して増えていくという戦略をとった植物なのだと教えていただきました。

増殖のためのインパクトある戦略を持っているながら人も美味しい実をつけるらしく、ということは種で増える戦略はどうなっているのか個人的に興味の尽きないもの見つけました、今後の観察会も楽しみです。

今日の鳥の鳴き声 (悦)

「ショウチュウイッパイ グイー」
分かる、分かる あれは、センダイムシクイ
「ショウベイ チュウベイ チョウチュウベイ」
あっ、そうそう、メジロ。

鳥の囀りを親しみを持って人の言葉で置き換えたのが、**聞きなし**です。

メジロの早口言葉のような**聞きなし**には、思い出があります。野鳥の観察、山菜の観察などでお世話になった今は亡き野澤先生のこの早口言葉が今も耳に残っています。

昆虫もたくさん
載っています

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。
《問合せ》 NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会
☎: 0266- 75-1772

WEB ガイドをつくりました。

観察会で長年撮りためた写真を利用して、スマホでも利用できる WEB ガイドを作りました。

①花の色で検索

②開花月で検索

③花の名前

上記の項目で検索ができます。

今後も観察したもので、更新していく予定です。

是非、ご活用ください。

茅野市 市民の森



芽吹きの葉が可愛らしいイボタノキ (桂)

高木の葉がまだ出でていないせいか、低木の緑一面が目立ちました。その中でも今回気になったのは、芽吹きの葉が可愛らしいイボタノキです。この葉がどういう風に展開していくのか、想像がつきません。今年は葉も花も実もじっくりと観察したいです。

偶然に2年前の冬に自宅付近で見つけたイボタノキの写真も載せます。イボタロウって何?という感じですが、調べて下さいね。それにしても「イボタノキ」って「水蝋の木」と書くのですね。(写真 2 枚 イボタノキの新芽、イボタノキ)



それと今回、ミドリヒメザゼンソウとウバユリの葉脈の走り方の違いを教えて頂きました。

私は今まで赤っぽい筋が

あるのがウバユリだとばかり思っていました。

でも緑色のものもあり、目からウロコでした。



4月観察した昆虫・その他(馬)

- <昆虫>
- キタキチヨウ②110
- スジグロシロチョウの仲間②110
- コツバメ
- スギタニルリシジミ②111
- トラフシジミ②111
- ミヤマセセリ②111
- ヒオドシチョウ②112
- ルリタテハ②112
- オオムラサキ越冬幼虫②114
- ヤママユ繭(中身未確認)②119
- クスサン繭(中身未確認)②119
- ウスタビガ繭(中身未確認)②120
- クロマルハナバチ②133
- <その他>
- アマゴ(魚類)
- マムシ
- アマガエル
- ニホンカナヘビ

4月観察した花 (悦)

- ✿ダンコウバイ①66
- ✿アブラチャヤン①66
- ✿ウリカエデ①68
- ✿クロモジ
- ✿ミチノクフクジユウ
- ✿バッコヤナギ①126
- ✿オノエヤナギ①131
- ✿ネコノメソウ①73
- ✿ヤシャブシ②71
- ✿キブシ①67
- ✿センポンヤリ①69
- ✿コブシ①68
- ✿モミジイチゴ①72
- ✿ヒトリシズカ①73
- ✿ミヤマウグイスカグラ①67
- ✿アケボノスミレ②70
- ✿ヒナスミレ②70
- ✿カキドオシ①75
- ✿フサザクラ①66
- ✿タツツボスミレ①77
- ✿アカネスミレ②70

春！（黒）

ようやく寒さから抜け出して、体を思いっきり伸ばして、森の新しい空気を沢山吸い、気持ちよく山歩き！

- 駐車場にカキドオシの花が春を自慢しているかのように咲いているのがかわいい。
- まだ秋の枯葉が冬の名残の様におちているのだけれど、そんなことにお構いなくたくさんのみれが咲いていました。色合いが微妙に違って楽しめます。その中でもちょっと大きめな花だけが目について、地上に葉が出ていないのはアケボノスマレでしょうか？



●沢山咲いているアブラチャン。



その花柄がまるで提灯を並べて下げているように並んでいるのが面白い。

- アキグミの花のつぼみのように見えるのは本当につぼみかな？

花が咲いて実がなったらうれしいな。



（吉）写真：（悦）蝶々が飛び始めました。

生き物たちが動き出した（吉）写真：（悦）

久しぶりにアマゴ夫婦を見ました。



アブラチャン、クロモジ、スミレの花も咲き始めました。

カラマツなど植物の芽吹きがきれいでした。市民の森も植物や生き物たちが動き出して天気も良く気持ちの良い観察会になりました。

枝振りは抽象画（直）

葉の芽吹きや早春に咲く花の淡い色合いを感じ、とても優しい気持ちになれました。また、青い空を背景に種類によってことなる枝振りが抽象画のようにも見えました。」



何もかも新鮮（矢）

今年初の月例観察会、春爛漫の市民の森は何もかも新鮮に感じられ、まるで冬眠明けのよう。

エゾエノキの葉裏には活動直前のオオムラサキ越冬幼虫が、足元にはコナラの枯葉を纏った空のヤママユの繭がありました。



落ち葉の裏にオオムラサキの幼虫が越冬中。



ヤママユからは天蚕とよばれる美しい緑色の糸が取れるとか。



⇒昨年7月
一生懸命コナラの葉を食し繭づくり直前の終齢幼虫を観察

似た花の見分け方（悦）

種名

アブラチャン

ダンコウバイ

クロモジ

花



花序の下の花柄

アブラチャン あり

なし

アブ

花序の個々の花柄に絹毛

アブラチャン なし

あり

アブ

今回、3種のうちクロモジだけが花と一緒に葉が展開しているのに気づきました。これは、クロモジの特徴と言っていいのだろうか。

始まりました 2025 年月例観察会（口）

四阿から沢沿いの小径への降口脇のフクジュソウがミチノクフクジュソウではないかと。萼がフクジュソウより半分の長さ、茎が空洞



見上げれば木々の間から太陽ハロ(日暈)が、明日の天気は下り坂と話題になりました。



スミレもタチツボスミレはいたるところで群落、アケボノスマレ、ニヨイスミレと観察、



アケボノスマレ

ニヨイスミレ

チョウチョもトラフジジミ、コツバメ、ミヤマセセリ、ルリタテハなどに出会いましたが、どれもせわしく動きコツバメをやっと写真に撮ることが出来ました。



コツバメ

ツマグロオオヨコバイ

葉の裏にツマグロオオヨコバイを発見